

## 阪急「(仮称)武庫川新駅」について

実現に向けて動き出した、新駅構想！

### ■動き出した、新駅構想！

阪急電鉄神戸線沿線の武庫川周辺にお住まいの方々の多くが長年、西宮北口駅と武庫之荘駅の間に位置する「(仮称)武庫川新駅」の実現を願ってきました。新駅構想に直接関係するのは西宮市・尼崎市・阪急電鉄株式会社(以下、阪急電鉄)の三者ですが、

【西宮市】住民の強い要望があり、積極的

【尼崎市】巨額の財源が必要となることに加え、駅の設置によって市営バス(2016年から民営化)の収支悪化が予想される等の理由から消極的

【阪急電鉄】両市から乗降できる武庫川の橋上駅舎とすること、両市が一定の資金を負担することを前提に協力の意向

と、それぞれの姿勢は異なり、実現に向けた機運は高まりませんでした。しかしながら2013年7月、西宮市・

阪急電鉄・兵庫県で構成される検討会に尼崎市が加入(以下、四者検討会)。検討の結果、周辺地域の人口増・税収増も含め、様々な効果が期待されることが明らかになりました(資料③参照)。こうした結果を踏まえて**四者検討会は2021年9月、新駅設置に向けた動きを進める考えを明らかにしました。**一方で、

●事業費を約60億円と見積もっているが、あくまで概算であり大幅に膨らむ可能性がある  
⇒国からの補助金で事業費の約1/3を負担しているが、実際に補助対象となるかは不明  
⇒西宮市と尼崎市で事業費の約1/3を負担しているが、両者の負担割合は未定

等、課題は山積しています。また実現した場合でも**最短5~6年の工事期間が必要と見込まれるなど、先の長い話になることは間違いありません。**今後の展開を注視すると共に、情報の提供に努めてまいります。

### 【資料③】新駅設置によって見込まれる効果(四者検討会発表資料より一部引用)

分野	西宮市	尼崎市
人口	公共交通の利便性向上による人口増加	まちの魅力向上による転入増加
税収	年間、約2億円増	年間、約1.2億円増
地域	河川敷を利用した地域の活性化交流促進	南北の地域間交流の活性化
防災	鉄道施設の利活用による新たな防災性向上	鉄道施設の利活用による新たな防災性向上

### ■諸事雑感

10月には首相が交代し、総選挙が行われるなど、国政が大きな注目を集めました。今号の印刷を発注した10月20日時点で、今後の国政の行方は全く見えません。

一方で総選挙の結果がどうなるかと、新型コロナウイルス感染症への対応、保健・介護サービスの充実、災害対策の推進、子育て支援策や学校教育の向上、道路・水道・各種公共施設の維持・管理・更新等、市政が果たすべき課題の重要性が変わることはありません。私の目標である「誰もが住みたい、住み続けたいと思うまち西宮」を実現するため、引き続き、力を尽くしてまいります。

## 澁谷 祐介：西宮市議会議員／五期目

■昭和48年12月26日生まれ。B型・山羊座。

■妻・長男・次男・三男の五人家族。

■市立浜脇小・浜脇中・私立明星高・京都大学経済学部卒業。

■平成8年4月より平成16年8月まで阪急電鉄株式会社勤務。

■書店ブックファースト・アズナス(コンビニ)等、小売事業を中心にキャリアを積む。

■平成16年11月、西宮市議会議員補欠選挙にて初当選。現在五期目。

■好きな言葉：一利を興すは一害を除くに如かず、大道無門

■好きな作家：司馬遼太郎、浅田次郎、黒川博行、篠田節子、山崎豊子 他多数

■尊敬する人物：織田信長、島津斉彬、大久保利通

しぶや祐介事務所：〒662-0927 西宮市久保町1-16-205

■市政に関する、皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。ご連絡は、以下までお願いします。  
★mail: shibuya@room.ocn.ne.jp  
★tel: 0798-22-7895  
(恐れ入りますが、不在時は、留守番電話にメッセージをお願いします。)  
★ブログ・facebookへのコメントにはお答えできない場合があります。回答をお求めの場合はmail・メッセージもしくはtelにてお問い合わせください。

西宮市議会議員

# しぶや祐介

市政報告67号×2021年11月

<<年4回発行>>

私たちが暮らす、  
西宮の未来のために。

浜脇小・浜脇中・明星高・京都大学卒  
元阪急電鉄(株)勤務 行動する政治

より詳しい政策や、日々の活動を通じて  
気づき、思い、考えたこと等、様々な内容を  
「しぶや祐介の活動日記」で週2回程度、発信しています。  
是非ご覧ください！

しぶや祐介の活動日記  
<https://blog.goo.ne.jp/shibuya1973/>

しぶや祐介 検索



### 言葉の解説 × 「決算」とは？

「決算」とは年度における収入と支出の実績を明らかにすることを言います。西宮市では9月議会において前年度の決算書等が提出され、様々な観点から質疑・意見表明等がなされます。決算を審査する過程で指摘した事項や意見等が翌年度の予算に反映されることも多く、議会と市民生活にとって、きわめて重要な場と言えます。

## TOPICS&CONTENTS ～今号の目次&内容～

◆2020年度決算のご報告/  
決算の概要と、私の考え  
(⇒表面)

◆多発する不祥事/  
抜本的な体質改善を！  
(⇒中面・左上)

◆空室だらけの市営住宅/  
募集方法が見直されました！  
(⇒中面・左下)

◆市保有財産の使用料/  
適切な料金の徴収を！  
(⇒中面・右上)

◆産後ケア事業/  
提供方法の充実を！  
(⇒中面・右下)

◆阪急「(仮称)武庫川新駅」/  
動き出した、新駅構想！  
(⇒裏面)

## 2020年度決算のご報告

現在の社会情勢で、過去最高の黒字???  
その背景にある、役所特有の会計ルールとは...

### ■決算の概要と、私の考え

9月議会において2020年度の決算が報告されました。歳入総額3287.5億円、歳出総額3221.7億円で**実質収支は過去最高となる62.8億円の黒字。**

**新型コロナウイルス感染症とは無縁の良好な決算に見えますが、内実は大きく異なります。**行政の決算では

- 貸与した現金等が返却されたもの
- 過去に積み立てた貯金(=基金)を取り崩して得た資金
- 市債を発行して得た借金

等は全て、収入として計算されます。そのため単純な収支だけでは実際の財政状況は判断できません。実際、2020年度決算には

- 市が「実質的な収支は赤字」と表明⇒市関連公社への貸付金55億円が返済されたのを収入に計上する等、特殊要因が重なった結果の黒字
- 1999年度以降で初めて、市債残高(=借金)が増加

等、「過去最高額の黒字」という言葉から受ける印象とは異なる状況が多く示されています。加えて、今後も新型コロナウイルス感染症の影響による税収減と支出の増大が予想されています。**市が質の高い住民サービスを継続して提供するためには、健全な財政状況の確保が欠かせません。**引き続き、持続可能な行政運営を実現するため、市政における課題の追及と改善策の提案に全力を尽くしてまいります。